

令和2年11月17日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米印豪共同訓練（マラバール2020）について

日米印豪共同訓練（マラバール2020）について、次のとおり参加部隊等を追加（追加箇所は下線部）しましたので、お知らせします。

1 目的

海上自衛隊の戦術技量の向上並びに米海軍、印海軍及び豪海軍との連携の強化

2 期間

(1) 前 段

令和2年11月3日（火）～11月6日（金）

(2) 後 段

令和2年11月17日（火）～11月20日（金）

3 訓練海空域

(1) 前 段

インド洋東方海空域（ベンガル湾）

(2) 後 段

アラビア海北部海空域

4 参加兵力

(1) 前 段

海上自衛隊：護衛艦「おおなみ」

米海軍：駆逐艦「ジョン・S・マケイン」

印海軍：駆逐艦「ランヴィジェイ」、フリゲート艦「シヴァリク」、
補給艦「シャクティ」、潜水艦「シンドウライ」、P-8I等

豪海軍：フリゲート艦「バララット」

(2) 後 段

海上自衛隊：護衛艦「むらさめ」（17日のみ）

第51航空隊（隊員2名、17日～18日）

米海軍：空母「ニミッツ」、巡洋艦「プリンストン」、駆逐艦「ステレット」、
P-8A

印海軍：空母「ヴィクラマディチャ」、駆逐艦「コルカタ」、「チェンナイ」、
フリゲート艦「タルワー」、潜水艦「カンデリ」、補給艦「ディパック」、
P-8I、MIG-29K、DORNIER等

豪海軍：フリゲート艦「バララット」

5 主要訓練項目

(1) 前 段

対潜戦訓練、対空戦訓練、対水上射撃訓練、対空射撃訓練、洋上補給訓練等

(2) 後 段

戦術運動等

6 その他

新型コロナウイルス感染症への必要な対策を行い実施します。